

62 明治13年4月13日 菊池長閑

第四号四月十三日記

第二号一月廿六日附三月九日達す御祖母様八十御敬賀を祝し長歌進呈早速朗読奏聞するに至極御悦兩三度おすミにも読せ聞召候心付面白し免ニ角長歌之口調ニ出たり詩作も久振ならん不案内なれとも其景況見るに足れり第五句云々乱如麻ノ麻ノ字平なり是ハ間違なるへし」此元昨今漸々春暖ニ相成寒紅梅などハ開初たり我園中も四五日にして開く敷し去月三十一日大風雪之荒しならハ今程ハ最盛ならんニ其前後冴返りたる故後れたり」楽堂様此度御願立にて盛岡ニ御寄留来ル十五日御着邸尤新庄邸也右之為メ成姫様加賀野田甫御持屋敷元鍵や茂兵衛田屋ニテ我居宅ノ向合なりエ去ル六日御住移ニ成り丁度在郷之隣位ニ相成候楽堂様之義ハ兎角東京御住居ニ而ハ難成筋在テ之事なるよし」巴此頃お波より申越ニ六月頃其地発足歐羅巴相廻り九月帰朝之見込之由英曆君ニ申上候趣伺候よし愈右之見込ニテハ最早文通も一兩度ならて取交成間敷早く発足之趣ヲ得度ものニ候此件ハ先ツ以皆無事なり孫も日増可愛成り候」日増諸色払騰第一米ハ七斗にて五円七八十錢にて貧士日々差廻り目も当られぬ聞得もあり小学遂勿之口も有之候是か為借貸上ニ付懇意之中出訴いたし事もあり以之外騒敷安眠難致世の中ニ相成候本年地租改正之期限ニ当り此改正如何致

もの也例之通政府之蔵庫之都合能様ニしてハ竹鎗筵族統ニとし  
て起るへし常県令も逐年不評判ニ成り候是ハ少敷民種之萌生た  
る故なる乎此度之地方会議院ニ於ても島氏随分味噌ヲ付々風聞  
あり然し仏様能か先ッ今分ハ無事ニ下着なり外別条なし随分出  
発之用意いたし早く無事着ヲ承るより他念無之也

武夫殿

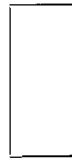
長閑

猶以菊池武去月十一日東京病院にて病死扱々痛入候次第也

(封筒表)

「米国ボストン府

菊池武夫殿 (消印3)



(武夫注記) (消印2) (消印1)

(封筒裏)

「大日本岩手県陸中国盛岡

外加賀野八十六番

菊池長閑無事

(消印5) (消印4)

(武夫注記)

「Mr. T. Kikuchi:

c/o Gilbert Strwood Esq.

14 Merchant Exchange

Boston, Mass. U. S. A. 」

(消印1)

「陸中・岩手・四・一四 盛岡」

(消印2)

(JAPAN S)

「TOKIO 13 MAY」

(消印3)

「YOKOHAMA MAY 15 1880」

(消印4)

「TOKIO JAPAN 13 MAY 」

(消印5)

「SANFRANCISCO CAL. P. D. ALL MAY 31」